

開催報告

インターンシップ

合宿型

第2回

学生を対象とした5泊6日の合宿型のインターンシップを開催。全国各地から12人の参加者を安芸高田市に迎えました。

この取り組みは、様々なプログラムを通して学生たちに社会スキルを習得してもらうとともに、市の課題に対する解決策を提示してもらうことを目的としています。

参加者は、グループワークなどで交流を深めながら、最終日にグループごとに作られた政策を市幹部に提言しました。

日時・場所

3月23日(木)～28日(火)

[ワーケーション施設] 緑の交流空間
(美土里町本郷)

【政策提言に向けた準備】

グループワーク

グループに分かれ、政策提言に向けて議論。大学や学部が異なる多様な人たちとの交流は、新しい視点を生む貴重な機会になりました。



市長レクチャー

ロジカルシンキングや議論のコツを市長がレクチャー。市の現状も学生たちに伝えました。



自己表現

プレゼンの練習として、幹部職員を前に参加者が一人ずつ自己紹介をしました。



地域交流

元地域おこし協力隊の南澤議員と意見交換。幅広い知識と経験から学生たちの疑問に答えていただきました。



【最終日に行われた政策提言】

テーマ “持続可能なまちづくり”
～安芸高田市がこの先も生き残っていくには～

市の現状をしっかりと分析した具体的な取り組みが3案発表されました。



グループA
の政策

施策目標「健康寿命の延伸」

介護人材の不足や、財政への圧迫を抑制するため、高齢者の生きがい創出や、地域社会とのつながりを強化することで高齢者の健康寿命を延伸

- 実施施策
- 「サンフレ×神楽×食(地産地消)」を融合させたイベントの開催
 - 高齢者を含むさまざまな世代間の交流を促進

グループB
の政策

施策目標「新たな移住ターゲットを開拓」

移住施策の多くは若者が主なターゲット層となっているが、元気な高齢者を積極的に呼び込み、10年間で人口1,000人増を目指す

- 実施施策
- 毛利元就や神楽などの観光資源の魅力を発信
 - 空き家所有者と移住希望者のマッチング強化と支援体制構築

グループC
の政策

施策目標「インスタグラムで魅力発信」

SNSを活用し、若者の目線で市の魅力を効果的に発信することで、若者の関係人口増加を図る

- 実施施策
- インターンシップ生が市公式インスタグラムを代行して運用

【政策提言を受けて】

合宿終了後の4月20日(木)、「あきたかたMeet-up～#インターンシップについて語ってみる～」を開催。各提言に対して関係部署で協議の後、市の事業へどのように反映できるかを参加者へ伝えました。



【参加者の声】

貴重な体験でした



これまでは自分の中に限界を作っていました。全国の大学生と交流し、“何事にも挑戦してみよう”と価値観が変わりました。現在はその気持ちで就職活動を頑張っています。自分を変えることができ、人生の転機となった貴重な経験でした。

問秘書広報課 秘書広報係 ☎お太助フォン 42-5627